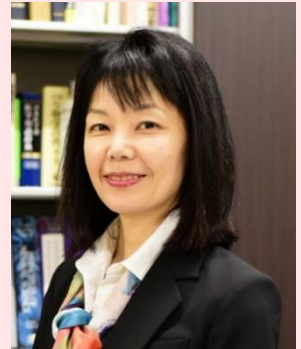


第347回 大阪大学神経科学懇話会

日時：平成31年1月9日（水） 17:00 – 18:00

場所：共同研究棟 7階 セミナー会議室

演者：見学 美根子 先生



京都大学 高等研究院

物質-細胞統合システム拠点 (KUIAS-iCeMS) 教授

演題：小脳皮質形成を司るニューロン細胞運動の力発生機構

ヒトの脳には千億個近いニューロンが存在するが、正確で効率の良い神経回路を配線するため、機能的に相関するニューロン同士が特定の層に並列して決められたパターンで突起を進展し、精緻な皮質を形成する。我々はマウス小脳皮質をモデルとして、皮質形成の主要過程である新生ニューロンの遊走とニューロン樹状突起パターン形成の動的制御機構をライブイメージング観察により追跡してきた。これまでの研究で、ニューロン移動と突起伸展は、発生脳組織の物理的環境に適応した細胞運動に制御されており、これには細胞骨格のアクチンと微小管の複雑なクロストークと微調整機構が必要である事が明らかになってきた。本セミナーでは、皮質形態形成におけるニューロン細胞骨格の多様な力発生機構について議論する。

※セミナーは日本語で行います

※本講演は、医科学修士課程系別セミナーとして単位が認定されます

連絡先：大阪大学大学院医学系研究科 解剖学講座(神経機能形態学) 佐藤 真(内線3221)